

広報 いんざい

9月1日号

No. 790
平成 27 年(2015)

主 な 内 容

- ◆国勢調査スタート…2
- ◆プレミアム付商品券追加申し込み…2
- ◆来年度から通学区域を変更…3
- ◆いなぎ獅子舞…4
- ◆救急フェア開催…5

発行：印西市 編集：広報広聴課広報広聴班
〒270-1396 印西市大森 2364-2 電話 0476 42 5111 (代) FAX 0476 42 7242
ホームページ <http://www.city.inzai.lg.jp/> Eメール home@city.inzai.lg.jp

わたしも
話せた！

イングリッシュ・
トレセン開催

英語だけの 楽しい1日

ALT (外国語指導助手) などと1日英語だけで過ごすイングリッシュ・トレセンに、市内の小学生 132 人が参加しました。ゲームや会話をして積極的にコミュニケーションすることで、英語に親しみました。



ぜんぶ英語でもオッケーだよ！

こんなことをしました

7月22日・23日の両日、それぞれ平岡少年自然の家で開催され、この日はずっと日本語禁止。英語だけを使い、コミュニケーションする楽しさを味わいました。会場では歩き回ってじゃんけんをしてあいさつしたり、ALT などを含む 10 人近くのグループで工作したり。最初は照れていた児童も、何人かと話すうちに、だんだん元気づく笑顔で話すようになりました。



次は誰が当たるかな？ドキドキ

このイングリッシュ・トレセンは、英語への興味・関心を高めるきっかけを作り、コミュニケーション力を高めることを目的に、市教育委員会が初めて開催。参加したのは小学校 5・6 年生 132 人と、市内の ALT 15 人、そして印西市国際交流協会からのボランティア 19 人です。このボランティアのみなさんの協力もあって、いきいきと活動できました。

☎指導課指導班 (☎内線 532)。

みんなの感想



児童のみんなから、次のような声が届いています。「英語を楽しく覚えられた」「7時間英語を話してたから、違う国にいるみたいだった」。

ALT からもメッセージが届いています。「分からない言葉があっても大丈夫。身ぶりなどで理解できる。話す時も、身ぶりや目線を大切にしよう」。

国際交流協会の吉原会長は、「みんな積極的に話していました。外国の文化を知るきっかけにもなっただろう」と語っていました。

総合防災訓練を実施します

毎年、市がさまざまな地域で行っている総合防災訓練。市民・関係機関などと合同で、今年は滝野中学校区を会場として実施します。

この訓練は、住民の防災意識を高め、自主防災力を高めることなどが目的です。訓練の内容は「印西市直下の地震」を想定し、救出、消火、応急処置や煙体験などをする実践的なものです。

☎ 10月18日(日)・午前8時～正午 (荒天・災害発生の場合は中止)。

☎ 滝野小・中学校。

※当日は手話通訳者を配置。

☎ 防災課防災班 (☎内線 453)。



逃げ遅れた人を救助する訓練の様子 (昨年)

災害発生時の心得

▶災害が発生したら…「むやみに移動し始めず、落ち着いた行動を」

- まずは自分の身の安全を確保しよう。
- 職場や集客施設などの、安全な場所にとどまろう。
- 災害用伝言サービスで、家族の安否や自宅の無事を確認しよう。
- 交通情報や被害情報などを手に入れよう。

▶日ごろの準備…万が一に備えよう

- 携帯ラジオや地図を持ち歩こう。
 - 職場などに、歩きやすいスニーカー、懐中電灯、手袋、飲料水や食料などを用意しよう。
 - 家族などと、安否確認の方法や集合場所を話し合おう。
 - 徒歩やバスで帰宅経路の状況を確認しよう。
 - 帰宅経路のコンビニやガソリンスタンドなどを確認しよう。
- ※千葉県など九都県市では、コンビニやガソリンスタンドなどで水道水、トイレや交通情報などが可能な範囲で提供されます。これは、徒歩帰宅支援協定を締結しているためです。

大規模な災害が発生すると公共交通機関が止まり、帰宅が難しくなります。しかし、災害発生時に多くの人が一斉に徒歩で帰宅し始めると、火災や沿道の建物からの落下物などで負傷する危険があります。また、災害時に優先されるべき、救助・救急活動を妨げます。

防災週間

8月30日～9月5日